

国民年金・政治信頼度データベース

2009年3月実施

※本調査は、文部科学省人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業(平成20年度)によるものです。

予備調査

※実際の調査では、青色の注意書きは表示されません。

本調査

※実際の調査では、青色の注意書きは表示されません。

まず、「公平」に関して、5つの質問をいたします。あなたのお考えをご回答ください。

▶ Q1 政府と行政システムは、あなたのことを公平に扱っていると思いますか。【必須】

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q2 政府と行政システムは、国民を公平に扱っていると思いますか。【必須】

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q3 政府と行政システムは、あなたの地域の人たちを公平に扱っていると思いますか。【必須】

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q4 政府と行政システムは、あなたのような立場の人たちを公平に扱っていると思いますか。【必須】

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q5 一般的にいて、いまの世の中は公平だと思いますか。あなたのお気持ちは、次のうち、どれに近いですか。【必須】

- 公平だ
- だいたい公平だ
- あまり公平でない
- 公平でない
- わからない

【-----改ページ-----】

次に「信頼」に関して質問をいたします。あなたのお考えをご回答ください。

▶ Q6 あなたは、「ほとんどの人は基本的に正直である」と思っていますか。【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q7 あなたは、「私は人を信頼する方である」と思っていますか。【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q8 あなたは、「ほとんどの人は基本的に善良で親切である」と思っていますか。【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q9 あなたは、「ほとんどの人は他人を信頼している」と思っていますか。【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

▶ Q10 あなたは、「ほとんどの人は信頼できる」と思っていますか。【必須】

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

【-----改ページ-----】

あなたは、次の3つのシステムを、それぞれどのくらい信頼していますか。

「信頼してもいないし、信頼していてもない」あるいは「どちらともいえない」という時には50度としてください。

もし信頼している気持ちがあれば、その強さに応じて51度から100度までの間の数字を教えてください(一番強い信頼で100度)。

もし、信頼をしていない気持ちがあれば、やはりその強さに応じて0度から49度のどこかの数字を教えてください(一番強い不信で0度)。

▶ Q11 日本の政治システム(国会議員、議会、知事、地方議員など) 【必須】

いずれかを選択してください

▶Q12 日本の行政システム(中央省庁、官僚制度、地方自治体など)【必須】

いずれかを選択してください

▶Q13 日本の経済システム(資本主義、市場経済、労使関係、雇用制度など)【必須】

いずれかを選択してください

【-----改ページ-----】

次の2問では、政策的課題に関して、2つの立場を示しています。あなたのお考えに近い選択肢をお選びください。

景気対策としては、

- ▶Q14**
- (A)公共事業(公共投資)を増やし、企業活動を活性化させるべきである。
-
- (B)減税を実施し、個人消費を刺激すべきである。【必須】

- Aに近い
- どちらかと言えばAに近い
- どちらかと言えばBに近い
- Bに近い
- わからない

財政が悪化したときには、

- ▶Q15**
- (A)福祉など必要なサービスを削減してでも、支出を減らすべきである。
-
- (B)福祉など必要なサービスを維持するために、赤字国債を発行すべきである。【必須】

- Aに近い
- どちらかと言えばAに近い
- どちらかと言えばBに近い
- Bに近い
- わからない

【-----改ページ-----】

次の2問では、社会的問題に関して、2つの立場を示しています。あなたのお考えに近い選択肢をお選びください。

子育てについては、

- ▶Q16**
- (A)母親が家で専念していた方が望ましい。
-
- (B)母親が働きに出ていたとしても、何ら問題はない。【必須】

Aに近い

-
- どちらかと言えばAに近い
- どちらかと言えばBに近い
- Bに近い
- わからない

初等教育については、

- ▶ Q17 (A)きちんと義務教育課程(通常の小/中学校)を修了すべきである。
(B)フリースクールなどを活用すれば十分であり、必ずしも義務教育課程を修了しなくても良い。【必須】

- Aに近い
- どちらかと言えばAに近い
- どちらかと言えばBに近い
- Bに近い
- わからない

【-----改ページ-----】

近年、国民年金について、その財源をすべて税金で賄い、生活に必要な最低限度の年金を保証する仕組みを導入することが議論されています。そこで、年金制度の仕組みについて質問いたします。

年金制度の仕組みについて、あなたのお考えはどちらに近いでしょうか。

- ▶ Q18 (A)保険料の支払額に応じて、受取額が決定されるべきである。
(B)保険料の支払額にかかわらず、すべての人が、最低限保証された年金を受け取るべきである。【必須】

- Aに近い
- どちらかと言えばAに近い
- どちらかと言えばBに近い
- Bに近い
- わからない

【-----改ページ-----】

日本の年金制度に対する、あなたの予想をお伺いします。

2009年2月23日、厚生労働省は、現役世代の手取り収入に対する厚生年金の給付水準は2038年度に50.1%になるとする試算を発表しました。(2009年度の給付水準は62.3%)
しかし、この水準は、「合計特殊出生率1.26」「賃金上昇率2.5%」「積立金の運用利回り4.1%」などを条件とした「基本ケース」で、それらの条件をもっとも厳しく設定した場合は2048年度に43.1%、もっとも楽観的に設定すると32年度に54.6%になるとも試算しています。

- ▶ Q19 そこで、あなたが予想する20年後(2038年)の給付水準について、お考えをご回答ください。【必須】

- 60%以上(現在の水準を維持)

- 50% (政府試算どおり)
- 40%以下 (政府試算よりも少ない)
- わからない

【-----改ページ-----】

税金の使い方についておたずねします。

政府は、将来世代(15歳未満)、現役世代(15-64歳)、高齢世代(65歳以上)、それぞれに対して、どのような割合で支出を行うべきとお考えでしょうか。予算全体を100として、理想的な配分額をお教えてください。【必須】※この設問は各行の合計が100になるように入力してください

(例 将来世代:30、現役世代:40、高齢世代:30)

将来世代: 数値を回答	<input type="text"/>	<input type="text"/>
現役世代: 数値を回答	<input type="text"/>	<input type="text"/>
高齢世代: 数値を回答	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【入力形式: 割合(100%)】

【-----改ページ-----】

▶Q21 あなたがお住まいの市区町村の規模をお聞かせください。わからない場合は、空欄にお住まいの市区町村名をご記入ください。【必須】

- 政令指定都市・東京23区内
- 人口30万人以上の市
- 人口20万～30万人以上の市
- 人口10万～20万人以上の市
- 人口10万人に未満の市町村
- わからない 【FA必須】

【-----改ページ-----】

▶Q22 住居をともにし、家計を同じくする者の集まりを「世帯」と定義します。あなたの世帯は、次のうちどれにあたりますか。【必須】

- 一人暮らし
- 夫婦のみ
- 夫婦と子(配偶者なし)
- ひとり親と子(配偶者なし)
- 夫婦二世帯(親夫婦と子夫婦)
- ひとり親と子夫婦
- 三世帯世帯
- その他の世帯

わからない

【-----改ページ-----】

▶ Q23 あなたの世帯の最近1年間の収入はおよそどのくらいですか。【必須】

- 200万円未満
- 200万円～400万円未満
- 400万円～600万円未満
- 600万円～800万円未満
- 800万円～1000万円未満
- 1000万円～1500万円未満
- 1500万円以上
- わからない・答えたくない